

5 医学部の収容定員変更の趣旨等を記載した書類

a 収容定員変更の内容

本学医学部医学科の入学定員を、平成22年度から、現行の入学定員120人から5人増加し、125人に変更する。これにより、収容定員を720人から750人へ変更する。

b 収容定員変更の必要性

山梨県は、人口10万人当たりの従事医師数が全国平均211.7人(出典:厚生労働省大臣官房統計情報部:平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査による)に対し、186.8人と下回り、県都市部の甲府地区においては311.5人であるが、県郡部の東部地区においては93.8人と県内での差が3.3倍となっている。また、人口10万人当たりの総医師数は、昭和61年の138.7人から平成16年は193人と増加はしているが、全国平均を下回っている。さらに、100平方km当たりの医師数も60人未満と少なく、医師不足が特に深刻と認められる全国10県の中の1県とされたところである。

このことを踏まえ、本学は「新医師確保総合対策」に基づき、平成20年度から平成29年度までの間、入学定員を従来の100人から110人に増加することを、また、「緊急医師確保対策」並びに「経済財政改革の基本方針2008」に基づき、平成21年度から平成29年度までの間(「経済財政改革の基本方針2008」については無期限5名)、入学定員を従来の110人から120人に増加することを決定した。

しかし、平成19年度において、山梨県内の医療機関に勤務する医師が減少し、診療科を閉鎖する医療機関が相次ぎ、当該医療機関の属する地域の市長から、診療科の確保を要請する多数の市民の署名嘆願書が届けられるなど、山梨県内の医師不足は深刻な状態にある。例えば産科については、県内四つの2次医療圏のうち、一つの医療圏には全く分娩取扱施設がない。また、平成20年度には、地域中核病院の一つである市立甲府病院の消化器内科医4人全員が辞職し、後任医師の確保ができなかったため、専門外来を休止する事態も生じており、現在も再開の目途は立っていない。

本学医学部附属病院は、県内の中核病院としてその果たす役割は大であり、県内医療の医師の需要と供給のバランスを最良の状態に維持することが、本医学部の重要な使命の一つである。しかしながら、本学医学部附属病院そのものの医師が激減し、県内医療機関から本院へ医師を引き上げざるを得ない診療科も発生している状況にある。

山梨県は、この医師不足の現状を深刻にとらえ、医師不足解消のため平成19年

度から、「山梨県医師修学資金給付制度」(資料1)及びドクタープール制度(資料2)を創設し、平成21年度も既設した奨学金枠の中で、平成20年度と同じ条件で奨学生を募集し、奨学金の給付を行った。同時に10年後における山梨県内への医師定着を確実に担保することを目指し、「緊急医師確保対策」に基づき、「地域医療を担う医師を養成するためのプログラム」の策定・実施を本学に要請した。(資料3)そこで本学では、この要請に応えるため、平成20年度の推薦入試から山梨県内高等学校出身者の入学枠(地域枠)を設定し、さらには平成21年度から出身高等学校にとらわれず、将来、山梨県内の地域医療に従事する意志を有する者を対象とした入学枠(地域枠)を設定し、現在まで本学医学部医学科の入学定員を20人増員したところである。

本年、「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について」(平成21年7月17日文部科学省高等教育局長通知)において、地域の医師確保等の観点から、「緊急臨時的に医学部入学定員増を認める」との方針が示された。

これに基づき、本学は、医師不足が深刻な地域や診療科の医療を担う医師の養成、地域医療機関との連携による地域医療への貢献など、医師確保のための方策の一つとして、さらに本学医学部医学科の入学定員5人増を申請するものである。

c 収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容

入学者選抜実施方法

本学医学部医学科では、平成20年度から入学定員を100人から110人に増員したことに伴い、推薦入試40人、一般入試前期10人、後期60人の入学定員を設定した。そのうち推薦入試においては、新たに一般枠10人、地域枠(山梨県内高等学校出身者のみ)30人以内を設定し、地域枠最終選抜合格者30人全員が入学した。(資料4)

平成21年度においては、入学定員を110人から120人に増員したことに伴い、推薦入試を40人から45人【(推薦入試45人の内訳は一般枠10人、地域枠30人以内(山梨県内高等学校出身者のみ)、地域枠5人以内(山梨県外高等学校出身者も対象)】とした。また、一般入試の後期日程を60人から65人とし5名増員し、推薦入試の5人と併せて平成21年度は10人増員した。(資料4)

地域に医師を定着させる方法として、平成19年度から山梨県医師修学資金制度を設けた。これは、将来、山梨県内の公立病院等の医師として従事しようとする医学生等に対して、山梨県が修学資金を給付する制度であり、第一種医師修学資金は月額5万円、卒業までに360万円を給付するもので、返還免除の要件として、卒業後、2年以内に医師の免許を取得し、医師免許取得後6年を経過するまでの間に3年以上の期間、山梨県内の公立病院等におい

て医師の業務に従事する必要がある。第二種医師修学資金は、月額13万円、卒業までに936万円を給付するもので、返還免除の要件として、卒業後、2年以内に医師の免許を取得し、医師免許取得後給付期間の2分の5に相当する期間を経過するまでの間に、給付期間の2分の3に相当する期間以上、山梨県内の特定公立病院等において医師の業務に従事することが必要である。

山梨県医師修学資金制度による受給者の進路状況を平成20年度について調査したところ、29人(うち国家試験4人不合格)中1人を除き24人が山梨県内で医師として従事するか又は、将来、山梨県内での医師としての従事を希望していることが判明した。(資料5)

平成21年度は地域枠(山梨県内高等学校出身者のみ)の30名以内の募集に対し、26人が合格し26人が入学した。また、地域枠(山梨県外高等学校出身者のみ)は5人以内の募集に対し、2人が合格し2人が入学した。(資料4)合格者が募集人員より下回った理由は、学力及び志望理由等によるものであり、このことから、平成22年度の5人増員については、地域枠ではなく後期日程を5人増員し65人を70人として、山梨県医師修学資金制度と連動させることにより卒業後の地域への定着を図って行きたい。

教育課程等の変更内容

平成20年度からの医学部医学科学生の入学定員10人増に伴い、新たに地域医療学講座を設置し、地域医療の現状、地域医療の魅力と意義などを教育する「地域医療学(2単位必修)」を開講した。この科目は、1～4年次に亘って開講する講義、演習及び実習により単位を修得させるものである。(資料6)

さらに、地域医療を体系的に学ばせるよう、従来の科目についても見直しを図り、地域医療学と連携した授業に再編した。

これは、従前の教育課程を大幅に変更するものではなかったため、従来の教育レベルを維持するとともに、学生にとって過度の負担とならぬよう配慮して地域医療の分野を強化したものである。

[参考]

平成20年度に新設した科目等の主な内容は、以下のとおりである。

<新設科目>

地域医療学(資料7)

- 1年次 地域医療に関連する特別講義
- 2年次 地域医療に関連する特別講義、附属病院大規模災害訓練参加
- 3年次 救急車同乗実習

4年次 地域医療に関するグループ別フィールド研究

<見直しを図った科目>

教養総合講義：1年次（資料8）

地域医療を理解するための講義（3コマ）

早期臨床体験実習（ECE）：1年次（資料9）

地域医療を支えている病院の実習、地域医療現場の体験

社会医学、環境遺伝医学：3年次（資料10）

地域病院・診療所の意義と問題点、在宅医療（診療所の役割）など地域医療に関連する講義

関連教育病院等臨床実習：5年次（資料11）

山梨県立中央病院及び他の山梨県内公共病院での実習

社会医学実習：6年次

地域医療体験機会の増

教育方法及び履修方法

講義・演習（討論）・実習を各学年にバランスよく配置し、地域医療に従事する意欲を高められるよう配慮した。

講義は、地域医療学講座担当教員を中心に、山梨県内の病院・診療所医師が現状を基に実施するとともに、医療関係者だけでなく、行政担当者、患者の会等にも依頼し、より広範な知識の習得を目指す。

地域医療学のグループ別フィールド研究では、グループごとに指導教員を配置して研究の進捗状況を定期的に確認するとともに、学生への助言者として研究のサポートにあたる。研究の成果は、発表会形式で報告させ、優秀なグループに対しては表彰を行う。

実習は、山梨県内の地域医療を支えている多数の病院・診療所に依頼し、山梨県医師会及び山梨大学開業医の会にも協力を仰ぎ、円滑に実習が実施できるよう配慮する。救急車同乗実習では、山梨県内の各消防署に協力を依頼する。

これらの科目に関しては、地域医療学講座担当教員が中心となってコーディネートし、各講座が協力して実施し、学生に対してきめ細やかな指導ができるような体制とする。

教員組織の変更内容

地域医療に関連する科目を担当するため、地域医療学講座を設置した。この講座は、専任教授1名、専任准教授1名、特任助教2名で構成し、地域医療学実習等の充実を図った。

平成21年度 山梨県医師修学資金 修学生募集

山梨県では、平成19年度から、[医師修学資金制度](#)を開始しました。

この制度は将来山梨県内で医師の業務に従事する意思のある医学生の皆様に修学資金を給付し、[一定期間県内の公立病院などに勤務した場合に、修学資金の返還を免除する](#)制度です。

詳細につきましては、山梨県庁医務課までお問い合わせ下さい。

富士の国やまなしは皆様の応募をお待ちしております。

募集期間：平成21年4月6日（月）～
5月15日（金）（当日消印有効）



写真提供：山梨県観光物産連盟

修学資金制度の概要

種別	第一種 医師修学資金	第二種 医師修学資金	第三種 医師修学資金
対象者	<p>次の要件を全て満たす者</p> <p>大学の医学を履修する課程に在学していること。</p> <p>将来、県内の公立病院等に医師として勤務しようとする意思があること。</p>	<p>次の要件を全て満たす者</p> <p>山梨大学医学部医学科に在学していること。</p> <p>将来、県内の特定公立病院等に医師として勤務しようとする意思があること。</p>	<p>次の要件を全て満たす者</p> <p>山梨大学大学院の医学を履修する課程に在学していること。</p> <p>医師免許を受けていること。</p> <p>将来、県内の公立病院等に医師として勤務しようとする意思があること。</p>
月額	50,000円	130,000円	50,000円
給付人数	<p>山梨大学</p> <p>1年生：25人</p> <p>地域枠入学者を優先</p> <p>県外大学</p> <p>1年生：5人</p> <p>の給付人数については目安であり、応募状況によって調整する場合がある。</p> <p>2年生～：県医務課にお問い合わせ下さい。</p>	<p>山梨大学</p> <p>1年生：25人</p> <p>地域枠入学者を優先</p>	<p>山梨大学大学院</p> <p>1年生：5人</p> <p>2年生～：県医務課にお問い合わせ下さい。</p>

種別	第一種 医師修学資金	第二種 医師修学資金	第三種 医師修学資金
給付期間	貸与決定の年から、大学の 正規の終業年限まで。	同 左	貸与決定の年から、大学院の 正規の終業年限まで。
返還（１）が免除になる要件	次の条件を全て満たした場合 卒業後、2年以内に医師 の免許を取得 医師免許取得後6年を 経過するまでの間に3 年以上の期間、県内の公 立病院等（２）におい て医師の業務（臨床研修 を含む。）に従事	次の条件を全て満たした場合 卒業後、2年以内に医師 の免許を取得 医師免許取得後給付期間 の2分の5に相当する期 間を経過するまでの間 に、給付期間の2分の3 に相当する期間以上（ ３）県内の特定公立病院 等（４）において医師 の業務（臨床研修を含む） に従事	次の条件を満たした場合 修了又は退学後ただちに 3年以上の期間、県内の公 立病院等において医師の 業務（臨床研修を含む）に 従事

- 1 修学資金は無利子です。
- 2 公立病院等：官公立病院、救急病院 等
- 3 例：6年間給付を受けた場合 医師免許取得後、15年のうち9年以上の期間
- 4 特定公立病院等：官公立病院、臨床研修病院、災害拠点病院 等
詳細については、『山梨県医師修学資金のしおり』（ホームページ
<http://www.pref.yamanashi.jp/imuka/16572525165.html>
からダウンロードできます。）をご覧ください。

申込方法

山梨大学医学部生・山梨大学大学院生の方へ

募集期間内に、「医師修学資金貸与申請書」（第1号様式）に次の書類を添えて、山梨大学甲府キャンパス又は医学部キャンパスへ申し込みをしてください。

（申請書は山梨県医務課のホームページからダウンロードできます）

<http://www.pref.yamanashi.jp/imuka/93956729473.html>

《医師修学資金貸与申請書 添付書類》

本人の住民票の写し（本籍の記載されたもの。申請の日前2月以内に発行されたもの）
医師免許証の写し（第3種医師修学資金の貸与申請者のみ）
連帯保証人の平成20年分所得を証明する書類
（別紙所得証明用紙に連帯保証人が必要事項を記入し、記名捺印したもの）
連帯保証人の印鑑証明書

連帯保証人について

申請に当たっては、以下の要件を満たす2名の連帯保証人が必要となります。

独立の生計を営む者

修学資金の貸与を受ける者が未成年者の場合は、連帯保証人のうち一人は、親権者又は後見人

県外大学医学部生の方へ

募集期間内に、「医師修学資金貸与資金申請書」（第1号様式）に上記の書類の他、在学証明書 及び レポート（地域医療に対する考えを800字程度で）を添えて、山梨県医務課まで申し込みをしてください。

《問合わせ先》

甲府キャンパス

山梨大学教学支援部学生支援課奨学支援グループ

〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37

Tel 055-220-8053

医学部キャンパス

山梨大学教学支援部学務課福利厚生担当

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110

Tel 055-273-9346

山梨県福祉保健部医務課 医療企画担当（担当 大澤）

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

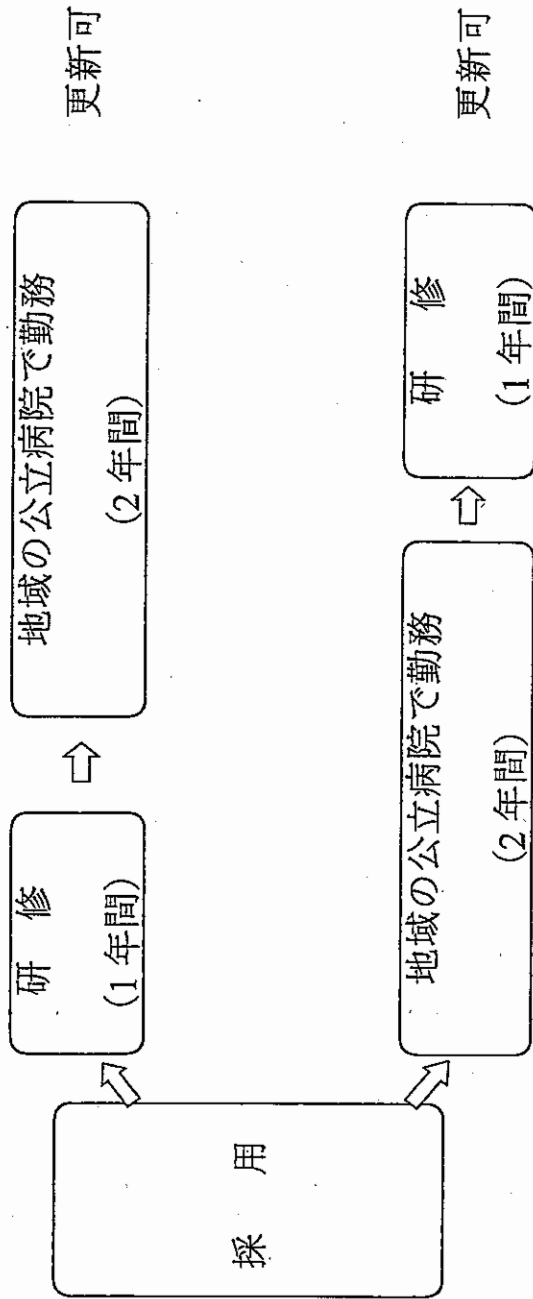
Tel 055-223-1480 Fax 055-223-1486

ホームページアドレス：申請書のダウンロードはこちらからどうぞ

<http://www.pref.yamanashi.jp/imuka/93956729473.html>

ドクタープール制度の概要

○ 3年を1セット



○ 研修は医師本人が希望する施設で可能 ⇔

山梨大学で研修することも可
土日・夜間のアルバイトは可

○ 研修中の身分は県職員（非常勤）

・ 給与、社会保険

：(例) 35歳 年額1,000万円程度
(但し、経験年数等による。) 県の制度による

○ 公立病院派遣中は派遣先市町村の職員の身分

・ 給与、社会保険

：派遣先団体の給与

派遣先団体の制度による

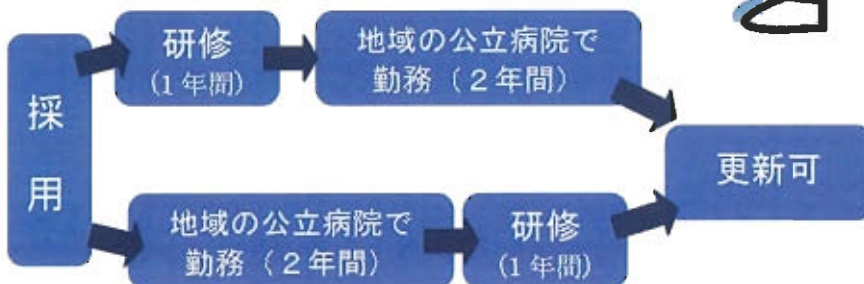


山梨県で
働きませんか？

◎山梨県ドクタープール事業

自然に恵まれ、東京に近接する好立地の山梨県で、地域医療に取り組む方を募集しています。

- ・ 県職員として採用します。
- ・ 3年間を1単位（更新可）として県内の公立病院で勤務していただきますが、このうち1年間は希望される医療機関、大学等で研修を受けることが出来ます。（有給）



お問い合わせ・ご連絡先

山梨県福祉保健部医務課

TEL.055-223-1480 e-mail:imuka@pref.yamanashi.lg.jp

拝 啓

平素本県の医療行政の推進に当たり、格別の御理解御協力をいただき、誠に有り難うございます。

また、先の医師奨学金の募集に際しましては、学年別に説明会を実施されるなど、きめ細かな御対応によりまして、多数の応募を頂いたところであり、改めまして先生の御厚意に深甚なる感謝を申し上げる次第です。

さて、過日、先生から御照会のありました、国の緊急医師確保対策に係る県の考え方について御回答させていただきます。

申し上げるまでもなく、医師不足が益々深刻化している本県の地域医療体制を立て直すためには、一人でも多くの医師を本県に確保し、定着させることが必要ですが、山梨県の医師数と全国平均の医師数との間の大きな乖離を勘案致しますと、本県の医師の増を期する上で、県内唯一の医師養成機関である大学の定員を増やすことは大変重要な方策であると考えているところです。

また、本県同様医師不足10県に数えられている他県に対し、5名増に関する取り組み状況について照会したところ、以下のとおり、現時点では、9県中6県において大学と協議済み若しくは今後定員増に向けて協議がなされる可能性が高いという状況です。

- ・定員増で大学と協議済みの県：2県
- ・未定の7県の内、大学において、定員増の意向あり若しくは定員増に問題はないと判断している県：4県

つきましては、既に地域医療に係る教育の充実など地域医療の向上・発展に向けた取り組みを進められていることは十分承知しておりますが、本県の地域医療体制のさらなる充実が図られるよう、貴大学において定員増についての御検討をいただきたくお願い申し上げます。

末尾ながら、前田先生はじめ貴大学の御厚意に対し、改めまして感謝申し上げますとともに今後ともなお一層の御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

平成19年11月20日

山梨大学医学部長

前田 秀一郎先生

山梨県福祉保健部医務課長

福富 茂

推薦選抜実施状況(医学科)

年度	定員	志願者数	1次合格	2次受験	最終合格	辞退者	入学者	倍率	備考
6(94)	10 (約3倍)	37 (19)	30 (15)	30 (15)	8 (5)	0 (0)	8 (5)	4.6倍	初年度
		12 (7)	12 (7)	12 (7)	5 (3)	0 (0)	5 (3)		
7(95)	"	50 (30)	32 (17)	32 (17)	10 (5)	0 (0)	10 (5)	5.0倍	
		14 (8)	13 (7)	13 (7)	7 (3)	0 (0)	7 (3)		
8(96)	"	34 (15)	32 (13)	31 (13)	10 (4)	0 (0)	10 (4)	3.4倍	
		11 (4)	11 (4)	11 (4)	7 (2)	0 (0)	7 (2)		
9(97)	"	64 (35)	30 (15)	30 (15)	10 (4)	0 (0)	10 (4)	6.4倍	
		17 (9)	15 (8)	15 (8)	9 (3)	0 (0)	9 (3)		
10(98)	"	74 (37)	31 (10)	30 (10)	10 (2)	0 (0)	10 (2)	7.4倍	
		14 (4)	12 (3)	12 (3)	5 (0)	0 (0)	5 (0)		
11(99)	15 (約3倍)	74 (39)	45 (27)	45 (27)	15 (8)	0 (0)	15 (8)	4.9倍	
		15 (6)	12 (4)	12 (4)	8 (3)	0 (0)	8 (3)		
12(00)	"	70 (39)	45 (25)	44 (25)	15 (8)	0 (0)	15 (8)	4.7倍	
		20 (9)	15 (7)	15 (7)	11 (4)	0 (0)	11 (4)		
13(01)	"	69 (35)	45 (23)	45 (23)	15 (9)	0 (0)	15 (9)	4.6倍	
		17 (7)	16 (7)	16 (7)	5 (2)	0 (0)	5 (2)		
14(02)	20 (約2.5倍)	42 (26)	42 (26)	42 (26)	20 (13)	0 (0)	20 (13)	2.1倍	
		16 (11)	16 (11)	16 (11)	10 (7)	0 (0)	10 (7)		
15(03)	"	66 (33)	50 (26)	50 (26)	20 (12)	0 (0)	20 (12)	3.3倍	
		18 (7)	14 (5)	14 (5)	9 (4)	0 (0)	9 (4)		
16(04)	"	56 (28)	50 (25)	50 (25)	20 (12)	0 (0)	20 (12)	2.8倍	
		17 (9)	15 (7)	15 (7)	10 (6)	0 (0)	10 (6)		
17(05)	"	78 (38)	50 (23)	50 (23)	20 (10)	0 (0)	20 (10)	3.9倍	
		33 (14)	23 (8)	23 (8)	12 (4)	0 (0)	12 (4)		
18(06)	20 (約1.5倍)	81 (34)	30 (9)	30 (9)	20 (6)	0 (0)	20 (6)	4.1倍	
		41 (15)	17 (5)	17 (5)	16 (5)	0 (0)	16 (5)		
19(07)	"	74 (33)	36 (19)	36 (19)	21 (12)	0 (0)	21 (12)	3.5倍	
		40 (16)	20 (9)	20 (9)	16 (9)	0 (0)	16 (9)		
20(08)	一般枠 10 (約1.5倍)	44 (25)	17 (10)	17 (10)	10 (5)	0 (0)	10 (5)	4.4倍	
		1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	地域枠 30以内 (約1.5倍)	97 (36)	47 (17)	47 (17)	30 (12)	0 (0)	30 (12)	3.2倍	初年度
21(09)	一般枠 10 (約1.5倍)	41 (21)	16 (8)	15 (7)	10 (4)	0 (0)	10 (4)	4.1倍	
		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	地域枠1 30以内 (約1.5倍)	91 (40)	48 (18)	48 (18)	26 (12)	0 (0)	26 (12)	3.5倍	
	地域枠2 5以内 (約1.5倍)	9 (8)	6 (5)	6 (5)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	4.5倍	

()は内数で女子数
各年度の下段は内数で県内出身者

一般入試実施状況(医学科)

年度	定員	志願者数	1次合格	2次受験	最終合格	入学手続	手続後 辞退	追加合格	追加合格 入学手続	入学者	倍率	備考
18(06)	前期日程 10 (約3倍)	114 (52)	30 (11)	24 (9)	12 (5)	12 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (5)	9.5倍	
		29 (16)	12 (4)	6 (2)	4 (2)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)		
	後期日程 70 (約13倍)	1,579 (321)	913 (155)	638 (111)	75 (7)	70 (7)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	73 (7)	20.2倍	
		35 (9)	23 (3)	15 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
19(07)	前期日程 10 (約3倍)	87 (36)	36 (14)	28 (9)	13 (3)	13 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (3)	6.7倍	
		19 (11)	10 (5)	5 (2)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)		
	後期日程 70 (約13倍)	1,069 (209)	910 (172)	630 (118)	71 (12)	64 (9)	1 (0)	8 (2)	8 (2)	71 (11)	13.5倍	
		29 (7)	24 (5)	19 (3)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)		
20(08)	前期日程 10 (約3倍)	89 (37)	46 (21)	26 (10)	12 (5)	12 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (5)	7.4倍	
		27 (11)	21 (10)	8 (4)	4 (3)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (3)		
	後期日程 60 (約15倍)	1,410 (300)	900 (173)	552 (113)	60 (10)	53 (10)	0 (0)	7 (0)	7 (0)	60 (10)	21.0倍	
		45 (15)	31 (11)	11 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)		
21(09)	前期日程 10 (約3倍)	120 (53)	42 (19)	29 (12)	10 (5)	9 (4)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	10 (4)	10.9倍	
		37 (17)	14 (5)	6 (1)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)		
	後期日程 65 (約14倍)	1,281 (272)	910 (180)	503 (109)	72 (11)	66 (10)	1 (0)	7 (1)	7 (1)	72 (11)	16.2倍	
		38 (12)	25 (6)	12 (2)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)		

()は内数で女子数

各年度の下段は内数で県内出身者

平成20年度卒業生進路先一覧(医師修学資金受給者に限る)

平成20年5月7日

番号	性別	出身地	研修先等(卒業前届出)	所在地	県内外	プロ グラム	研修先(1年目)	所在地	県内外	今後の予定
1	男	愛媛県	尾道市立市民病院	広島県	県外		尾道市立市民病院	広島県	県外	「山梨県に戻る可能性なし」
2	男	大阪府	未定				なし			「現在、職なし。将来、山梨県に戻る可能性あり」
3	男	岐阜県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
4	男	神奈川県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
5	女	山梨県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
6	男	神奈川県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
7	女	東京都	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
8	女	神奈川県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
9	男	長野県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
10	男	長野県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
11	男	山梨県	静岡県立総合病院	静岡県	県外		静岡県立総合病院	静岡県	県外	「研修終了後、山梨県に戻りたい」
12	男	栃木県	自治医科大学附属病院	栃木県	県外	国試不合格				
13	男	東京都	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
14	男	静岡県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	C	中野総合病院	東京都	県外	
15	男	埼玉県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
16	女	山梨県	横浜労災病院	神奈川県	県外		横浜労災病院	神奈川県	県外	「現時点では未定、山梨県に戻る可能性もある」
17	男	神奈川県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
18	男	山梨県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	C	山梨県立中央病院	山梨県	県内	
19	女	埼玉県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	B	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
20	女	奈良県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
21	男	山梨県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
22	男	山梨県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	C	山梨県立中央病院	山梨県	県内	
23	男	栃木県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	C	山梨県立中央病院	山梨県	県内	
24	女	埼玉県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
25	男	山梨県	甲府共立病院	山梨県	県内		甲府共立病院	山梨県	県内	
26	男	埼玉県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	国試不合格				

既卒者(H19年度卒業生)

1	男	大阪府	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	国試不合格				
2	男	山梨県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	A	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	
3	男	富山県	山梨大学医学部附属病院	山梨県	県内	国試不合格				

プログラム:山梨大学医学部附属病院卒後臨床プログラム

- A = 2年間本院
- B = 1年目本院, 2年目協力病院
- C = 1年目協力病院, 2年目本院

別表第4 - 1 (平成20年度入学生用)

医学科授業科目【専門教育科目(必修)】

区分	年次	単 位 数						単位数 合 計	備 考		
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次				
専 門	基礎 医学 系	分子組織学		6				6			
		細胞生物学		6				6			
		生理学1		5				5			
		生理学2		5				5			
		生化学1		4				4			
		生化学2		4				4			
		実験医学		1				1			
	学 系	臨床 基礎 医 学	薬理学			2			2		
			分子病理学			1			1		
			微生物学			4			4		
			寄生虫学			1			1		
			免疫学			3			3		
	系	社会 医学	法医学			3			3		
			環境遺伝医学			2			2		
			社会医学			2			2		
			社会環境医学実習					1	1		
	教 育 科 目 (必 修)	臨 床 医 学 系	人体病理学			1			1		
地域医療学			(1~4年次で修得)				2		2		
チ ュ ー リ ン グ			臨床 教育	臨床医学総論			1			1	コース1
				呼吸器循環器			6			6	コース2
				消化器			6			6	コース3
				内分泌代謝			5			5	コース4
				感染症, 免疫, アレルギー, リウマチ, 膠原病				5		5	コース5
				血液				3		3	コース6
				腎, 泌尿器, 生殖器				5		5	コース7
				神経, 筋, 精神				6		6	コース8
				運動器, 感覚器, 皮膚				6		6	コース9
				周産期, 成長発達				3		3	コース10
				外傷, 救急, 蘇生, 麻酔, 中毒, 環境医学				4		4	コース11
臨 床 実 習			臨床 実 習	内科学1	実	習			2	2	
				内科学2	実	習			2	2	
				血液内科学	実	習			1	1	
				内科学3	実	習			2	2	
				神経内科学	実	習			2	2	
				小児科学	実	習			2	2	
				精神神経医学	実	習			2	2	
				皮膚科学	実	習			2	2	
				外科学1	実	習			2	2	
				外科学2	実	習			2	2	
				整形外科	実	習			2	2	
				脳神経外科学	実	習			2	2	
				麻酔科学	実	習			2	2	
				産婦人科学	実	習			2	2	
	泌尿器科学	実		習			2	2			
	眼科学	実		習			2	2			
耳鼻咽喉科学	実	習			2	2					
放射線医学	実	習			1	1					
臨床検査医学	実	習			1	1					
救急	実	習			1	1					
診断学入門(CBT・OSCE)				1			1				
臨床講義						1	1				
関連教育病院等臨床実習					2		2				
C P C					2		2				
新総合医学概論(必修テーマ)						1	1				
選択実習						10	10				
総合医学研究(卒業試験)						2	2				
合 計			31	37	35	38	17	158			

臨床実習には、歯科口腔外科の実習を含むものとする。

別表第4-2 (平成15年度~平成19年度入学生用)

医学科授業科目【専門教育科目(必修)】

区分	年次	単 位 数						単位数 合 計	備 考		
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次				
専 門	基礎 医学系	分子組織学			6				6		
		細胞生物学			6				6		
		生理学1			5				5		
		生理学2			5				5		
		生化学1			4				4		
		生化学2			4				4		
		実験医学			1				1		
	学 系	臨床 基礎 医	薬理学				2			2	
			分子病理学			1				1	
			微生物学			4				4	
			寄生虫学			1				1	
			免疫学			3				3	
	系 社 会 医 学	社会 医学	法医学			3				3	
			環境遺伝医学			2				2	
			社会医学			2				2	
社会環境医学実習							1	1			
基礎教室配属			3					3			
教 育 科 目 (必 修)	臨 床 医 学 系	人体病理学			1				1		
		チ ュ ー リ ア ル 教 育	臨床医学総論			1				1	コース1
			呼吸器循環器			6				6	コース2
			消化器			6				6	コース3
			内分泌代謝			5				5	コース4
			感染症, 免疫, アレルギー, リューマチ, 膠原病				5			5	コース5
			血液				3			3	コース6
			腎, 泌尿器, 生殖器				5			5	コース7
			神経, 筋, 精神					6		6	コース8
			運動器, 感覚器, 皮膚					6		6	コース9
			周産期, 成長発達					3		3	コース10
	外傷, 救急, 蘇生, 麻酔, 中毒, 環境医学					4		4	コース11		
	臨 床 医 学 系	実 習	内科学1		実 習				2	2	
			内科学2		実 習				2	2	
			血液内科学		実 習				1	1	
			内科学3		実 習				2	2	
			神経内科学		実 習				2	2	
			小児科学		実 習				2	2	
			精神神経医学		実 習				2	2	
			皮膚科学		実 習				2	2	
			外科学1		実 習				2	2	
			外科学2		実 習				2	2	
			整形外科		実 習				2	2	
			脳神経外科学		実 習				2	2	
			麻酔科学		実 習				2	2	
			産婦人科学		実 習				2	2	
			泌尿器科学		実 習				2	2	
眼科学			実 習				2	2			
耳鼻咽喉科学		実 習				2	2				
放射線医学		実 習				1	1				
臨床検査医学		実 習				1	1				
救 急		実 習				1	1				
診断学入門(CBT・OSCE)					1			1			
臨床講義							1	1			
関連教育病院臨床実習						2		2			
C P C						2		2			
新総合医学概論(必修テーマ)							1	1			
選 択 実 習							10	10			
総合医学研究(卒業試験)							2	2			
合 計			31	40	33	38	17	159			

臨床実習には、歯科口腔外科の実習も含むものとする。

地域医療学シラバス

履修年次：1～4年次 単位数：2単位 必修・選択の別：必修

1. 学習目標

一般目標（GIO）

地域医療の現状を理解し、地域医療の魅力と意義を感じるにより、地域医療に従事する意欲を持ち、地域医療に必要な知識と技術を身につける。

行動目標（SBOs）

地域医療に関する知識を修得する。地域医療に必要な技術を身につける。地域医療の実状を調査する。

2. 授業計画

1年次 特別講義「地域医療の実状1」及び「地域医療の実状2」各1コマ

2年次 特別講義「地域医療のいろいろ」及び「トリアージについて」各1コマ

附属病院大規模災害訓練への参加

3年次 救急車同乗実習 各学生が1回実習を行う

4年次 地域医療に関するグループ別フィールド研究

4～11月の期間で地域医療に関するテーマを研究する。

4月当初に2コマ程度のガイダンスを開催し、各グループ指導教員の紹介、研究テーマの選定を行う。

月1回程度、指導教員が担当グループの学生とディスカッションし、研究の進捗状況を確認する。

12月頃に研究成果報告会を実施し、優秀グループの表彰を行う。

地域医療を体系的に学べるよう、関連科目として、1年次の教養総合講義、ECE、3年次の社会医学・環境遺伝医学、6年次の社会医学実習を設定している。

3. 到達目標

地域医療の現状を理解し、関連法規を概説できる。

行政施策（医療法における地域医療計画）

山梨県の現状及び全国の状況

地域医療とへき地医療の違い

地域における予防医学の重要性

地域における専門医療への対応（がん、重症心疾患、周産期医療等）

地域における自治体病院の役割

地域における診療所（開業医）の役割

地域における在宅医療への対応

地域医療の問題点の検討

4. 評価方法

特別講義、実習、フィールド研究への出席状況及びレポートにより評価する。

グループ別フィールド研究の研究成果報告会での内容も加味して評価する。

単位は4年次に認定する。

平成20年度 教養総合講義 - 医学部で何を学べるか - 実施予定

科目責任者:佐藤 弥 教授

対象:医学科1年次生 前期 木曜日3時限(13:00~14:30)

甲府キャンパス 教育人間科学部M号館 M-11講義室

No	実施日	講師名	本務・役職等	演 題	備 考
1	4月10日(木)3時限	竹田 扇	細胞生物学 教授	学問としての医学 -実験医学序説-	
2	4月17日(木)3時限	貫井 英明	学長	医師とは、医学とは	
3	4月24日(木)3時限	中尾 篤人	免疫学 教授	基礎医学とは	
4	5月 1日(木)3時限	藤井 秀樹	第一外科 教授	臨床医学とは -外科医の立場から-	
5	5月 8日(木)3時限	小松 則夫	血液内科 教授	臨床医学とは2	
6	5月15日(木)3時限	星 和彦	病院長	医学部附属病院の役割 産婦人科の魅力	
7	5月22日(木)3時限	杉田 完爾	小児科学 教授	小児科の魅力	
8	5月29日(木)3時限	佐藤 弥 (長田先生)	地域医療学 教授 (飯富病院長)	地域病院における 医師の役割1	
9	6月 5日(木)3時限	佐藤 弥 (古屋先生)	地域医療学 教授 (牧丘病院長)	地域病院における 医師の役割2	
10	6月12日(木)3時限	佐藤 弥 (塚本先生)	地域医療学 教授 (山梨県立中央病院)	地域中核病院における 医師の役割	
11	6月19日(木)3時限	松田 兼一	救急医学・集中治療部 教授	救急医療の魅力	
12	6月26日(木)3時限	佐藤 弥	地域医療学 教授	日本の医療制度 医療の現状	
13	7月 3日(木)3時限	香川 知晶	臨床倫理学 教授	ECE実習における事前学習	
14	7月10日(木)3時限	香川 知晶	臨床倫理学 教授	ECE実習における事前学習	
15	7月17日(木)3時限	佐藤 弥	地域医療学 教授	正しいECE実習の行い方	

平成21年度 教養総合講義－医学部で何を学べるか－ 実施予定

対象: 医学科1年次生

科目責任者: 佐藤 弥 教授 (地域医療学)

通年 前期: 木曜日 3時限 (13:00~14:30) 後期: 金曜日 4時限 (14:45~16:15)

甲府キャンパス 教育人間科学部M号館 M-12講義室

No	実施日	講師名	本務・役職等	演 題	備 考
1	4月16日(木)3時限	前田 秀一郎	学長	医学概論	
2	4月23日(木)3時限	有田 順	医学部長	医学教育の目的	
3	4月30日(木)3時限	島田 眞路	病院長	医師とは何か	
4	5月 7日(木)3時限	竹田 扇	(解剖)細胞生物学 教授	学問としての医学 －実験医学序説1－	
5	5月14日(木)3時限	中尾 篤人	免疫学・教授	学問としての医学 －実験医学序説2－	
6	5月21日(木)3時限	小松 則夫	血液・腫瘍内科学 教授	臨床医学とは －内科医の立場から－	
7	5月28日(木)3時限	藤井 秀樹	外科学1・教授	臨床医学とは －外科医の立場から－	
8	6月 4日(木)3時限	杉田 完爾	小児科学・教授	小児科の魅力	
9	6月11日(木)3時限	平田 修司	産婦人科学・准教授	産婦人科の魅力	
10	6月18日(木)3時限	佐藤 弥 (長田先生)	地域医療学・教授 (飯富病院長)	地域病院における 医師の役割	
11	6月25日(木)3時限	佐藤 弥 (小澤・古屋先生)	地域医療学・教授 (牧丘病院)	地域病院における 医師のやりがい	
12	7月 2日(木)3時限	香川 知晶	臨床倫理学・教授	ECE実習における 事前学習	
13	7月 9日(木)3時限	香川 知晶	臨床倫理学・教授	ECE実習における 事前学習	
14	7月16日(木)3時限	佐藤 弥	地域医療学・教授	正しいECE実習の 行い方	
15	10月 2日(金)4時限	星 和彦	理事 (財務・医療・施設担当)	大学における附属病院	
16	10月 9日(金)4時限	佐藤 弥	地域医療学・教授	ECEのまとめ1	
17	10月16日(金)4時限	佐藤 弥	地域医療学・教授	ECEのまとめ2	
18	10月23日(金)4時限	北村 正敬	分子情報伝達学・教授	基礎医学から 臨床応用へ	
19	11月 6日(金)4時限	瀧山 嘉久	神経内科学・教授	地域医療における 臨床研究	
20	11月13日(金)4時限	松川 隆	麻酔科学・教授	麻酔科の魅力	
21	11月20日(金)4時限	松田 兼一	救急・集中治療医学 教授	救急医療の魅力	
22	11月27日(金)4時限	飯島 裕幸	眼科学・教授	臨床医学教育: テュートリアル、臨床実習	
23	12月 4日(金)4時限	加藤 良平	人体病理学・教授	病理学とは 最終診断者の力	
24	12月11日(金)4時限	佐藤 弥	地域医療学・教授	日本の医療制度と現状	
25	12月18日(金)4時限	佐藤 弥	地域医療学・教授	教養総合講義のまとめ	

平成 21 年度早期臨床量体験 (ECE) 実習の実施について

対象学年：医学科 1 年次生 123 名

実施日程

平成 21 年 9 月 24 日 (木)・25 日 (金)・28 日 (月) ECE 病院実習
 平成 21 年 10 月 9 日 (金)・16 日 (金) 教養総合講義：ECE のまとめ 1・2
 (発表・報告会)

受入実習施設 (15 施設)

施設名	受入れ人数
国立病院機構甲府病院	10 名
山梨県立中央病院	12 名
市立甲府病院	6 名
社会保険山梨病院	6 名
甲府城南病院	6 名
北杜市立甲陽病院	5 名
加納岩総合病院	4 名
山梨厚生病院	10 名
笛吹中央病院	5 名
飯富病院	10 名
市川三郷病院	6 名
社会保険鵜沢病院	6 名
甲州リハビリテーション病院	5 名
石和温泉病院	5 名
山梨大学医学部附属病院	27 名

平成20年度早期臨床体験（ECE）実習の実施について

対象学年：医学科1年次生 113名

期 間：平成20年9月24日（水）～平成20年9月29日（月）の4日間
（内訳）

施設実習：平成20年9月24日（水）～平成20年9月26日（金）

発表討論会：平成20年9月29日（月） 臨床講義棟大講義室

受入実習施設（16施設）

施設名	受入れ人数
国立病院機構甲府病院	10名
山梨大学医学部附属病院	15名
山梨県立中央病院	10名
市立甲府病院	6名
社会保険山梨病院	6名
甲府城南病院	5名
韮崎市立病院	5名
北杜市立甲陽病院	5名
加納岩総合病院	5名
山梨厚生病院	10名
笛吹中央病院	5名
飯富病院	5名
市川三郷病院	5名
社会保険鯉沢病院	6名
甲州リハビリテーション病院	10名
石和温泉病院	5名

平成20年9月29日（月）にECEの発表・討論会が開催されますのでご出席願います。開催日近くになりましたら改めて通知します。

3年次 地域医療学に関する講義(社会環境医学の講義との連携)

(1) 一般目標(GIO)

地域医療を担う医師として公衆衛生の場で対応できる思考力の滋養と態度，すなわち Public Health Mind を身につけ，実践できる。

(2) 行動目標(SBOs)

コアカリキュラムに基づき下記の行動目標を立てる。

1) 公衆衛生学，環境医学，疫学に関する知識を習得する。

公衆衛生学分野の対人保健サ - ビスに関する事項を，予防医学の視点から総合的に学ぶ。さらに，保健，医療，福祉の連携を学ぶ。具体的な項目は下記のとおりである。

公衆衛生学の歴史と業績，新しい保健学，地域医療学，保健統計の主要指標，衛生行政，生活習慣病予防，健康増進，母子保健，学校保健，老人保健，精神保健，産業保健，感染症，国際保健，エイズ，難病，医療対策，医療費，医療保障，保健関連法規，介護保険，疫学の手法，Evidence-based Medicine，環境医学，健康危機管理，医療事故，医療情報の活用，診療ガイドライン。

2) 公衆衛生に必要な技能を修得する。

EBM (Evidence-based Medicine) に対応できる資料収集及び判断能力を育成する。地域医療の問題点について当事者の話を聞き，意見交換をする。

医療廃棄物処理の見学など医療に関する環境問題について実習を行う。

3) 医師としての態度を身につける。(6年次実習)

対人保健サ - ビスの現場において，住民の立場に立って対応できる態度を身につけるために，主に，地域医療の一線で自分たちの立てた実習目標と計画に沿って実習をし，報告会及び実習レポートを作成する。

(3) 試験，評価方法

- ・ 試験受験資格の出席の最低ラインは講義の 2/3 以上とする。
- ・ ミニテストはその日の講義の確認を目的として講義の最後に実施(出欠票となる)。
- ・ 確認テストを系統講義の後に行い，評価の対象とする。
- ・ 最終試験形式は筆記及び面接とする。
- ・ 総括評価は最終試験と実習レポートを中心に，確認テスト，討論会の発言状況を加味して行う。

